

## 埼玉県内企業の 2021 年度上半期および通期業績見通し調査

調査企業：県内企業 536 社 調査方法：アンケート方式（7 月 20 日～8 月 25 日）

回答企業：191 社※(回答率 35.6%) 業種別内訳：製造業 114 社 非製造業 77 社

※ 回答企業は 191 社であるが、設問ごとに回答数が異なっている。

### 要旨

- 埼玉県内企業の 2021 年度業績見通しは、新型コロナウイルス感染症による経済活動への下押し圧力が続いている中、海外経済の回復持続に加え、堅調な巣ごもり需要、デジタル関連需要増などを背景に、「増収」、「増益」を見込む企業が増えている。
- 2021 年度業績見通しを全産業で見ると、売上高については、上半期・通期ともに、「増収」とする企業の割合が、「減収」とする企業の割合を上回った（売上高「増収」-「減収」：上半期 21 ㊦、通期 29 ㊦）。  
 経常利益についても、上半期・通期ともに、「増益」とする企業の割合が、「減益」とする企業を上回った（経常利益「増益」-「減益」：上半期 20 ㊦、通期 21 ㊦）。売上高、経常利益ともに「増収」、「増益」を見込む割合は、非製造業に比べて製造業の方が高くなっている。
- 前回の 2020 年 8 月調査（以下、前回調査）と比較すると、売上高（「増収」-「減収」）では、上半期 79 ㊦、通期 84 ㊦、経常利益（「増益」-「減益」）では、上半期 72 ㊦、通期 77 ㊦と、いずれも大きく改善している。
- 2021 年度上半期売上高が「減少」と回答した企業に、コロナ禍前の水準に回復するまでに要する期間について聞いたところ、全産業では、「分からない」が 36%で最も多く、次いで、「2 年」が 28%、「半年」および「1 年」がともに 11%となっている。「3 年以上」は 6%、「戻らない」は 8%であった。

増収、増益の見方：「10%超の増加」、「10%以内の増加」の割合の合計

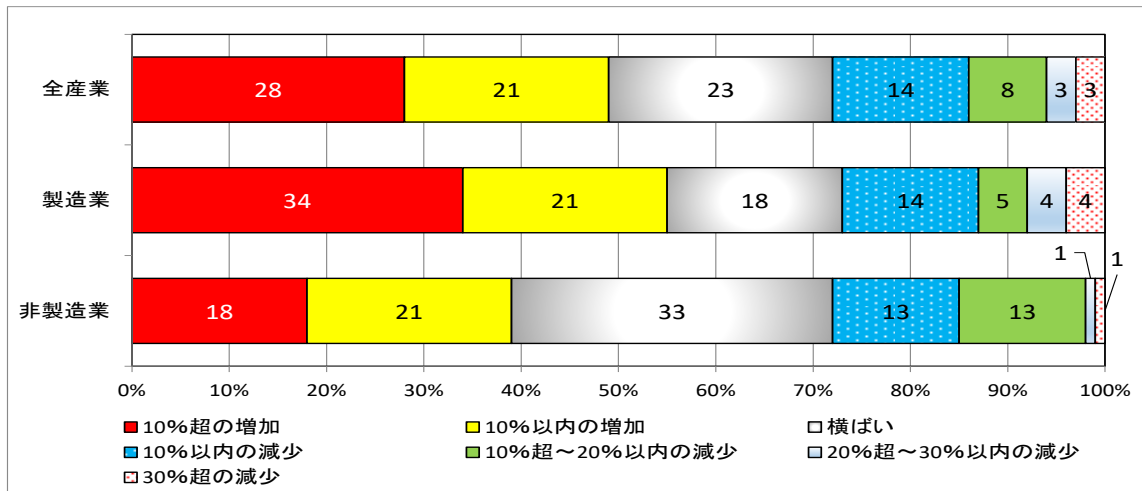
減収、減益の見方：「10%以内の減少」、「10%超～20%以内の減少」、「20%超～30%以内の減少」、「30%超の減少」の割合の合計

### 1. 2021 年度上半期売上高の見込み（有効回答数 191）〈図表 1〉

2021 年度上半期売上高の見込み（前年同期比、以下同様）について聞いたところ、全産業で「増収」の割合は 49%となった。一方、「減収」の割合は 28%となっており、「増収」が「減収」を 21 ㊦上回った。前回調査と比べると、「増収」が 13%から 49%へ 36 ㊦増加し、「減収」が 71%から 28%へ 43 ㊦減少している。上半期売上高を「10%超の増加」と見込む企業は 28%となっている。

業種別で見ると、製造業では「増収」が 55%、「減収」が 27%と「増収」が「減収」を 28 ㊦上回り、非製造業でも「増収」が 39%、「減収」が 28%と「増収」が「減収」を 11 ㊦上回っている。非製造業に比べて製造業の方が、「増収」を見込む割合が 16 ㊦高くなっている。

図表 1. 2021 年度上半期売上高の見込み（前年同期比）

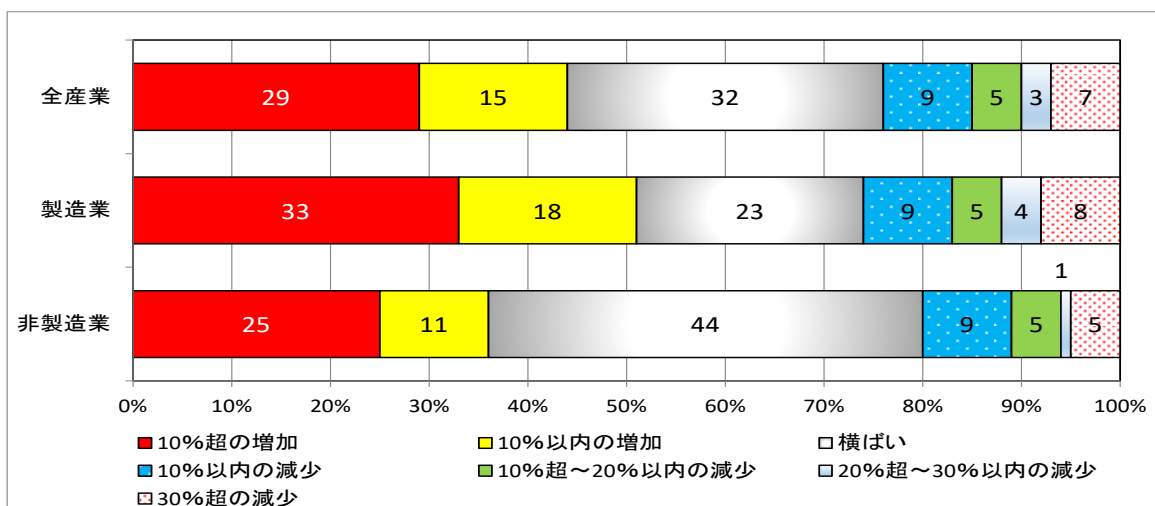


2. 2021 年度上半期経常利益の見込み（有効回答数 189）〈図表 2〉

2021 年度上半期経常利益の見込みについては、全産業で「増益」の割合は 44%となった。一方、「減益」の割合は 24%となっており、「増益」が「減益」を 20 割上回った。上半期経常利益を「10%超の増加」と見込む企業は 29%となっている。前回調査と比べると、「増益」が 15%から 44%へ 29 割増加し、「減益」が 67%から 24%へと 43 割減少している。

業種別にみると、製造業では「増益」が 51%、「減益」が 26%と「増益」が「減益」を 25 割上回り、非製造業でも、「増益」が 36%、「減益」が 20%と「増益」が「減益」を 16 割上回っている。上半期売上高と同様に、非製造業に比べ製造業の方が「増益」を見込む割合が高くなっている。

図表 2. 2021 年度上半期経常利益の見込み（前年同期比）



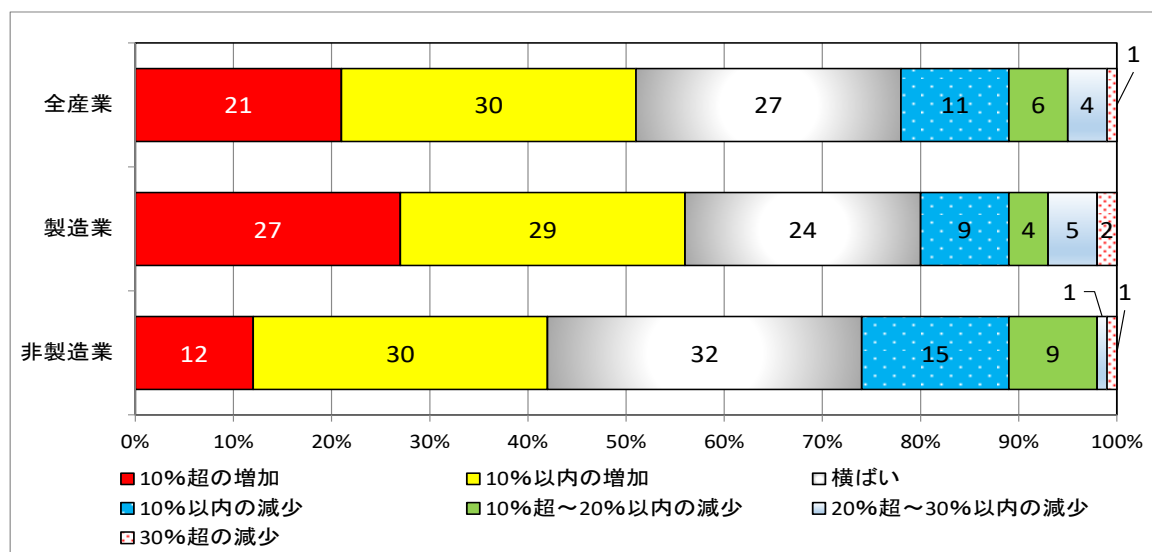
### 3. 2021 年度通期売上高の見込み（有効回答数 189）＜図表 3＞

2021 年度通期売上高の見込みについては、全産業で「増収」は 51%となった。一方、「減収」は 22%となっており、「増収」が「減収」を 29 ㊦上回った。「増収」を見込む企業の割合は、上半期（49%）とほぼ横ばいの結果となっている。

前回調査と比べると、「増収」が 14%から 51%へ 37 ㊦増加し、「減収」が 69%から 22%へ 47 ㊦減少している。

業種別でみると、製造業では「増収」が 56%、「減収」が 20%と「増収」が「減収」を 36 ㊦上回り、非製造業でも「増収」が 42%、「減収」が 26%と「増収」が「減収」を 16 ㊦上回っている。

図表 3. 2021 年度通期売上高の見込み（前年同期比）



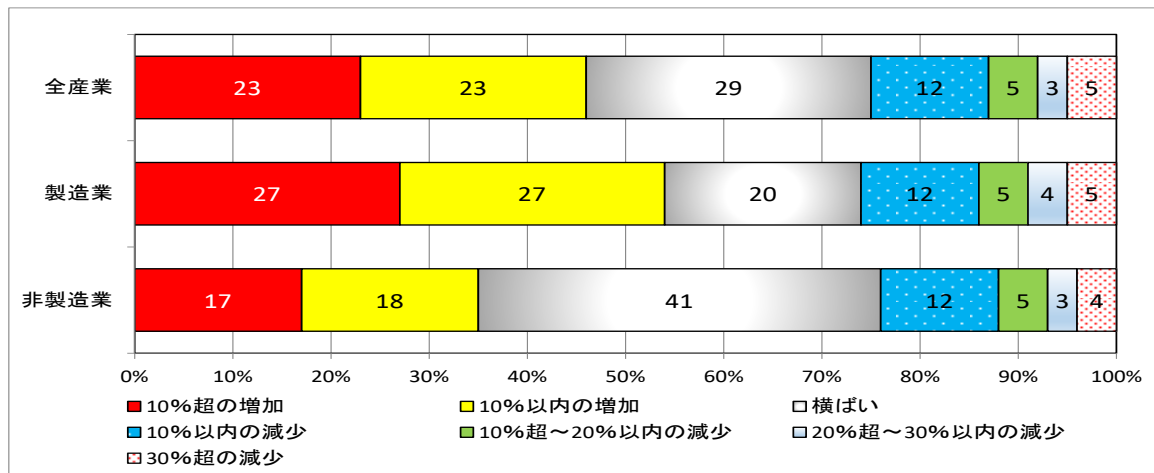
### 4. 2021 年度通期経常利益の見込み（有効回答数 189）＜図表 4＞

2021 年度通期経常利益の見込みについては、全産業で「増益」は 46%となった。一方、「減益」は 25%で、「増益」が「減益」を 21 ㊦上回った。「増益」を見込む企業の割合は、上半期（44%）とほぼ横ばいの結果となっている。

前回調査と比べると、「増益」が 12%から 46%へ 34 ㊦増加し、「減益」が 68%から 25%へ 43 ㊦減少している。

業種別にみると、製造業では「増益」が 54%、「減益」が 26%と「増益」が「減益」を 28 ㊦上回り、非製造業でも「増益」が 35%、「減益」が 24%と「増益」が「減益」を 11 ㊦上回っている。

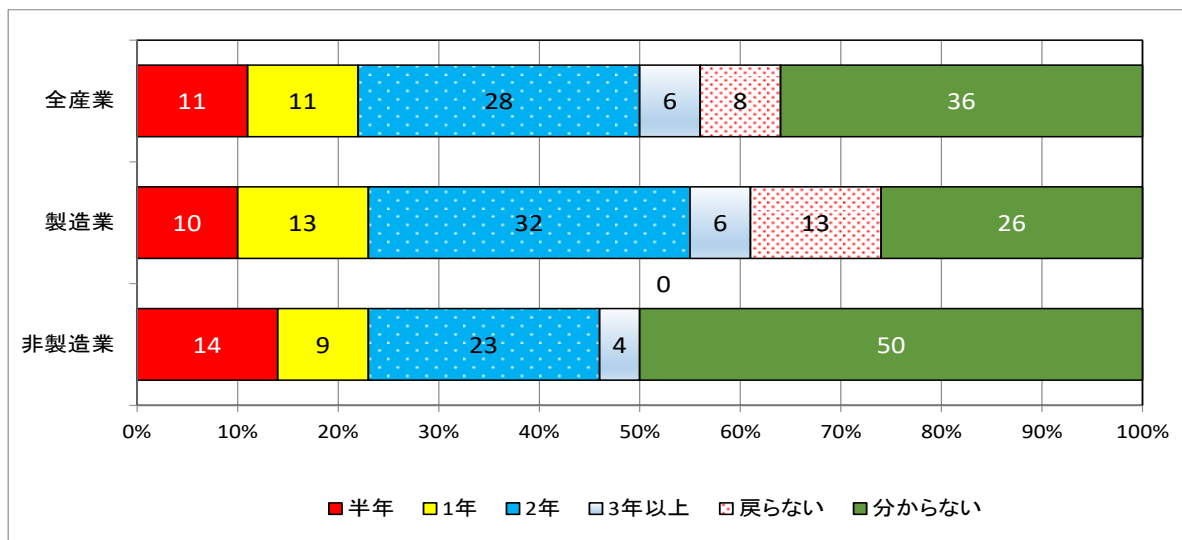
図表 4. 2021 年度通期経常利益の見込み（前年同期比）



5. 売上高の回復見込み（有効回答数 53）＜図表 5＞

2021 年度上半期売上高が「減少」と回答した企業に、コロナ禍前の水準に回復するまでに要する期間について聞いたところ、全産業では、「分からない」が 36%で最も多く、次いで、「2 年」が 28%、「半年」および「1 年」がともに 11%となっている。「3 年以上」は 6%、「戻らない」は 8%であった。「分からない」とする割合を業種別にみると、製造業の 26%に比べて非製造業では 50%となっており、非製造業で先行き不透明感がより強い傾向がうかがえる。

図表 5. 売上高がコロナ禍前の水準に回復するまでに要する時間



【参考】 図表6. 売上高(増収-減収)・経常利益(増益-減益)の前年度比較<sup>(注)</sup>

(単位:ポイント)

		売上高(増収-減収)			経常利益(増益-減益)		
		2020年度(①)	2021年度(②)	前回調査比 (②-①)	2020年度(①)	2021年度(②)	前回調査比 (②-①)
全産業	上半期	▲ 58	21	79	▲ 52	20	72
	通期	▲ 55	29	84	▲ 56	21	77
製造業	上半期	▲ 63	28	91	▲ 62	25	87
	通期	▲ 60	36	96	▲ 60	28	88
非製造業	上半期	▲ 52	11	63	▲ 41	16	57
	通期	▲ 46	16	62	▲ 50	11	61

(注) 売上高(増収-減収) : 「増収」と回答した先の割合から「減収」と回答した先の割合を引いたもの  
 経常利益(増益-減益) : 「増益」と回答した先の割合から「減益」と回答した先の割合を引いたもの

## 6. まとめ

埼玉県内企業の2021年度業績見通しは、新型コロナウイルス感染症による経済活動への下押し圧力が続いている中、海外経済の回復持続に加え、堅調な巣ごもり需要、デジタル関連需要増などを背景に、「増収」、「増益」を見込む企業が増えている。

県内企業の業況感は改善傾向にあるが、業種別にみると、製造業では加工組立型を中心に改善基調が続いている一方、非製造業では改善が足踏みしており、業況感の明暗が分かれている。2021年度業績見通しをみても、売上高、経常利益ともに「増収」、「増益」を見込む割合は、非製造業に比べて製造業の方が高くなっている。

(参考) 埼玉県内企業経営動向調査 業況判断BSI<sup>1</sup>

	2020年10~12月	2021年1~3月	4~6月	7~9月
全産業	-36	-31	-19	-12
製造業	-43	-41	-16	-5
非製造業	-25	-17	-24	-23

以上

<sup>1</sup> 業況判断BSIは、調査先企業の業況について「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を差し引いた数値。